

令和8年10月13日

保護者の皆様

札幌市立平岡南小学校

校長 森井 由見

札幌市立平岡南小学校
令和8年度（2026年度）全国学力・学習状況調査について
今回の調査における課題と改善の方向性

4月に6年生を対象に「令和8年度（2026年度）全国学力・学習状況調査」を実施いたしました。本校の調査結果を分析し、課題と改善の方向を検討しましたのでお知らせいたします。今回明らかになった課題や改善の方向性は、6年生に限らず学校全体の課題として捉え、今後全学年を通じて改善していくものと考えています。

【国語】 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性について

本校の概要

【内容】

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

▼全国平均を下回っている

「情報の扱い方に関する事項」

▼全国平均を下回っている

「話すこと・聞くこと」

▼全国平均を下回っている

「書くこと」

▼全国平均を下回っている

「読むこと」

▼全国平均を下回っている

今回の調査における課題

○引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること

○相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること

○目的に応じて、必要な情報を見付けること

○考えとそれを支える理由や事例など、情報と情報との関係について理解すること

○資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように、表現を工夫すること

改善の方向性

○集めた情報から必要な内容を正確に引用・精選し、自分の考えが伝わる文章に構成し直す学習の充実。

○相手に伝えるための「話の構成メモ」や「理由・事例の挙げ方」など、話し合い活動の基礎技能の定着。

○文章全体を漠然と読むのではなく、目的に合わせて意図的に情報を探す学習の充実。

○文章中の「考え」とそれを支える「理由・事例」の関係性など、段落相互の関係や、情報同士の繋がりを意識しながら読み進める指導を日常的に行う。

○「なぜこの資料を使うのか」「なぜここを強調・太字にするのか」など、「伝える工夫」に着目させる学習の充実。

【算数】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性について

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向性
小学校 算数 【領域】 「数と計算」 ▼全国平均を下回っている 「図形」 ▼全国平均を下回っている 「測定」 ▼全国平均を下回っている 「変化と関係」 ▼全国平均を下回っている 「データの活用」 ▼全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている	○整数と小数の減法の計算をすること ○百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めること ○日常生活の問題を解決するために、示された条件を基に調べたい数量の求め方について数や言葉を用いて記述すること ○基準量、比較量、割合の関係を理解すること ○異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述すること	○計算によって得られた数値が何を意味するのかを考え、適切な判断につなげる学習の充実。 ○「なぜその式や考え方になるのか」という思考のプロセスを、根拠を明らかにして順序立てて文章化する指導。 ○テープ図や線分図を用いて割合の関係性を視覚的に捉え、常に「何が基にする量にあたるのか」を図に描いて確認できるようにする。 ○単位分数の個数や分母の意味に着目し、数の大小関係とその理由を相手に分かりやすく伝える活動の充実。 ○日常のノートにおいて立式と説明をセットで記述する習慣の定着。テスト時にも「分かるところまで式や言葉を書く」など粘り強く取り組む姿勢を育む。

【児童質問紙】

日常の生活習慣や学習環境などについての質問で、肯定的な回答が多かった主な項目と少なかった主な項目についてお知らせいたします。

肯定的な回答が多かった項目

- ☐人が困っているときは、進んで助けていますか
- ☐人の役に立つ人間になりたいと思いますか
- ☐いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
- ☐授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか

肯定的な回答が少なかった項目

- 新聞をどれくらい読んでいますか
- 普段の平日にスマートフォン等で動画視聴やSNS等をする時間（学習・ゲーム除く）
- 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか
- 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができるとは思いますか